



ひっぴたごより

NO.3 2014.5.30

グミの花が咲きはじめ 緑が濃くなり 虫たちも動き始め 森が豊かな色でいっぱいになってきました。 森の中では 木々密基地、ツルのプラコ、怪木の 海貝式舞台... 草を刈ったことで じっこ遊びの家が数ヶ所。と遊ぶ場所が拡がり増えてきました。

森の中で過ごすことが増えた最初の頃 小さな木の根、ここにつまずき 転んでしまう人が多くいました。木の根っこがこんなにあつたんだ...と気が付き 森づくりの日や保育の前に整備しています。そんな中 陽麗ちゃんが 転んで 栗のイガが 膝に刺さってしまうということがありました。トゲは なかなか取りきれないものもあります。「そのまましておいても 時間がたつと 自分の体のカゴトゲを押し出してくれると 恵美子先生(昨年まで園医をして下さっていた方です)が言っていたから 大丈夫なんだけど... どうお? と聞くと 陽麗ちゃんは 「どうしても 抜いて!」と泣き声も上げず トゲが無くなるまでグッと我慢していました。他にも イガのある所で 転んでしまった人がいたので、やっぱり 栗のイガは 掃除した方が いいのかな... 綺麗に 歩きやすく ケガをしないように することが 必要なのかな... と私は 考えていました。しかし ある時 森で遊んでいると 陽麗ちゃんが 理央子ちゃんと 心美ちゃんに 「あ、こは ひーちゃんが 栗に刺さって 痛かった ところだから 気を付けてね」と 伝えています。①「い、い、い泣いた?」②「うん、我慢したよ。」③「えー?! あ、うん!」と 話しながら その場所は ゆっくり 気を付けて 歩いていました。そういえば 4月の初めは どんぐりさんが 歩きが 慣れない 森の地面で 何度も 転んでいたから 根っこを 切っていたのでした。石壁かに 根っこは 少なくなりましたけど 無くなったわけでは ありません。でも 今では 転ぶことが グッと 少なくなってきたという ことに 気が 付きました。それだけでなく 走りまわって 遊んでいます。自分の 体で 経験すること 地面に しっかり 足を つけて 踏みしめて 歩き方を 身につけて いたのですわ。森の中には 木の根っこや 栗のイガ など 小さな 傷に つながるものは たくさん あります。高い所に ぶら下がっている 枝など 命に関わる物 大きなケガに つながる物は 無く しなければ なりません。必要なのは 公園のように 整備された 場所 にと することは なかったのです。

森で たのび 遊び、森を 知り、森で いろいろ なことを 経験し、森と 仲良しに なってきて いる 子どもたちです。ひっぴの 森は どんどん 生まれ 変わっています。

みんな で 作って いける ことが これから しても 楽しみ です。

!美穂!

おおきくみたごより

レノの森から名称が変わったライジング・フォレスト 軽井沢(以下、RFKと略)。とんとん整備が進み、ありがたい利用させて頂いています。びっぴの もう一つの活動場所として、おおきくみでは、月曜日に 出かける 機会が 増えて きて います。広大 敷地の RFKは バウエーに 富んだ 環境で、びっぴの 森は 運う 魅力が たっぷり あります。

まずは、広い 芝生 広場。緩やかな 傾斜は あり ます。広場 全体が 見渡せ、思い 切り 走り には 絶好の 場所。何となく 「おおきくみ 何時?」という 集団 遊び の ように 迷い 道に かけ 遊びは 「まてー!」「にけー!」と みんな 全速力 で 芝生 広場 中を 走り 回り ます。転んで ても それほど 痛く なく、手も あまり 汚く ない。すぐ 起き 上がって 走り 出 します。赤い バトン と 青い バトンの チーム に 分かれ ての リレー も 大人 気。バトン を 受け 取り、持 ち 走り、次の 人に 渡す という 流れに まぼろし にも ならず、かり 慣れ、最近 では 走り 慣れ を 決める 話し 合い も 始ま りました。芝生 で 遊ぶ、ゴロゴロ 転がる の も 気持 持ち たい。でんぐり 返し (下)。寝、ころか、空を 見上げ たり して 芝生 ならではの 過ごし方 を 満喫 して います。

芝生 広場 から 坂を 下り、いくと 川が 流れて います。子ども たち が 安心 して 遊ぶ のに ぴったりの 川。流れ も 緩やか で、深さ も 足首 くらい まで です。少し 段差 や カーブ などの 変化 が あり、川の中を 歩いている だけ ても おもしろい。木々 や 葉、水が 流れて、小石 を 動かして ぐんぐん や 池を つくって います。また また 川の水は 冷たい ですが、川遊び は 大人 気 です。

お散歩 コース という おも 探検 コース という 表現 が ぴったりに なく、また また 足で 運んで いる 場所 が たくさん。途中 の 分かれ 道で 「こっち に行く?」「こっち に行く ようよ」「あ、この ほうが いいよ」と 相談 しながら 進む 楽しみ が あります。途中で 「お、迷子 になっ た、大人 じゃ ない? もじろよ...」と 不安 な 声 が あり、また 「大丈夫 だよ」と 前に 進む 勇気 の 声。そう して 見慣れた 景色 に 出会う と 「あ、ここ 知ってる!」「やっぱり この ところ だよ」と 嬉し げな 表情。

先日は 探検 の 途中、管理 事務所 で 「お世話 さん、おしほけ テント に 入って いい ですか?」と お願い して、常設 テント に おじや ました。天気 が 良く あり、たまたま こと あり、テント の 中は 薄暗い の ですか、なんだか ワクワク する ように みんな 大喜び。「お、今日は みんな でここに 泊る ちゃう?」と 声を かけて 「泊り たい!」「ここに 寝たい。」という 人。「お家 に 帰る よー」「おかあ さんと 一緒 じゃ ないで 寝る ない...」という 人が 半々 くらい。それ とも 時間 が 経って 「やっぱり 泊る ようか ねえ」と 気持 持ち が 変わる 人も いました。

リヤカー に 大きな バック を 積んで、馬車 場 から 芝生 広場 の みんな で 運ぶ のも、おみこ (と 担いで いる ように 遊んで みます)。トシ も いろいろ あり、あまり 待た ない で 用が 足せる のも いい! 和式 の ホットン 便所 も いろいろ 機会 が ない で 触れ 合える ところ が ない はず。

回数を 重ねる 度に 新しい 発見 が あり RFK。次は どの ような 楽しい こと が 起こる でしょう か...

慎之介

お知らせ

個人面談のお知らせ

子どもの様子や話し合いを深く理解し合うために下記のよう
個人面談を行います。お時間にご都合がある場合は、ぜひお
交替していただき、その旨をスタッフまでお知らせ下さい。

降園後から託児をうけし、2時の迎えにいらして下さる
大丈夫です。面談時間には別荘から直接面談場所へいら
して下さい。

面談場所 ビューハウス等「希望」ハウス

	6/9(月)	6/10(火)	6/11(水)	6/12(木)	6/13(金)
2:15 ↓ 2:45					
2:45 ↓ 3:15					
3:15 ↓ 3:45					

今月のえりんこかい日

11日(水)

今月のアート日

9日(月)

今月のライジングフィールド日

2日(月) 16日(月) 23日(月) 30日(月)

びっぴお泊り会のお知らせ

親子で交わることを楽しみ、お大人は聞き合ふこと、知り合ふことを大切にびっ
の森にお泊りし、お父さんの参加もお待ちしています。保育の一貫して
行い、参加が基本です。お困りのことなど別荘からお声をかけて下さい。
一緒に考えましょう。

日時) 6月20日(金) 夕方5時集合

21日(土) 朝10時頃解散

・20日(金)の通常保育は別荘です。

場所) バイタルキャンプ場 メインハウスとキャビン棟

持ち物) 着替え、洗面用具、パジャマ、タオル、その他必要な物
持参する方は掛布団カバー、敷布団カバー、枕カバー

食事) 夕食・朝食とこちらで用意いたします。
夜の大人の会の飲み物などは各自飲みたいものを持参
して下さい。キャビン棟近くで「焚き火バー」を開く予定です。

お風呂) キャンプ場まで入ります。

料金) 親子一組 7000円
大人一人 4000円
兄弟一人 2500円
シーツセット(掛敷、枕カバー+敷布団) 525円

小学生プログラム) 親と離れて泊りをする会と別荘での別荘体験
参加申し込みは別荘までお申し込み下さい。

びっぴお泊り会 参加内容

*代金に添えて 6/13(金)までに
提出をお願いします。

園児名 _____

参加ご家族名 _____

必要なベッド数 _____ 床

" シーツセット数 _____ 組

備考欄 _____

🌱 田畑トゴリ

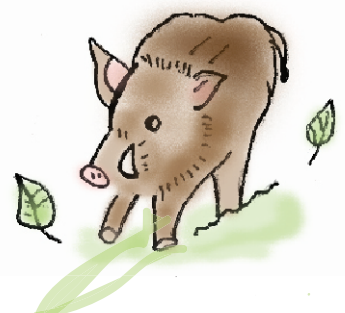
5月23日(金)、おおくり・くり・まろほりきさみは田んぼへ出かけました。来週は田植えの予定。この日は田んぼの「^レ刈りかき」という大事な仕事があります。この刈りかき、普通は機械で田んぼを耕して土をこねて雑草を叩き飛ばすけれど、この田んぼは人間の足でこねて土を柔らかくします。ひびひの子も土を踏み回すと、田植えの「やりやすくなるわけて」。朝の集まりで今日の刈りかきについて仕事の話が聞け、まろは大きく育った稲の苗を見て、朝次朗くん「この苗が大きくなるように土をこねておくれね。」みんな喜んで靴をはき脱いで田んぼに入りました。カエルや大量の蚊がシクシクを追い回して歩き回ると雑草は泥に押し込まれ、かわいい足跡がたくさん。土はいい感じにこねられていました。刈りかきができたら次は泥の運動会。二人一組のはせ棒運び競争、泥を足もろく脱出の綱引き、誰がはめに走り？と相談して順番を泳ぐドリル...全身で泥の感触を楽しみました。汗ばんでいた人達は、この前種まきしたカブと人参周りの草取りもしかりやってくれました。湧き水でびや本の泥をさうときれいにしてからお楽しみのおうま缶風呂。5人ずつとほりーんと入って「ああ気持ちいい!」「出たー!」「もう一回入りたい!」と2回目まで待つ人もたくさん。すっかりきれいに仕上がったお盆、食後にもう一回泥の中に入っている人もいて、お母さまがお洗濯ものたくさんでめんどいよ。今週はいいよお田植え、おいしいお米が食べられるようにみんなでがんばりましょうね。
: 美和子

ひびひの森の動物たち あしあとを探る?



< 5月 イノシシ >

若葉が美しく、気持ちのよい季節になりました。この時期、森を歩くと「ぐろんぱ」と子どもたちがよんでいるシダがぐろんと根っこごと転がっていることがあります。また、森の小道のエルの少しやわらかい所や落ち葉が積もっているところにくねくねと道のように5~10cmほどの深さで何cmもほりかえしたあとが残っているのを見ることが出来ます。ぬかるみなどがその近くにあれば、気をつけてみると半月型のひがめの跡(イノシシの足跡 3-9cm(長さ))を見ることが出来るでしょう。イノシシは草の根やミズナなどをほりかえして食べるため、上記のようなほり跡が出来ます。また泥地に寝ころんで体に泥をぬりつける習性があり、まるでその跡はイノシシのおつらのようです。森歩きをしながら、イノシシの歩いた跡を見つけていくと、その様子が目に見えるようで楽しいですよ。



: 菜々丸